

# 三心を磨く

学校だより NO. 16

平成29年 9月4日(月)発行

須崎市立 東 中学校

文責：金井 勝久 (教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

## 1学期 学校生活・授業アンケート結果より

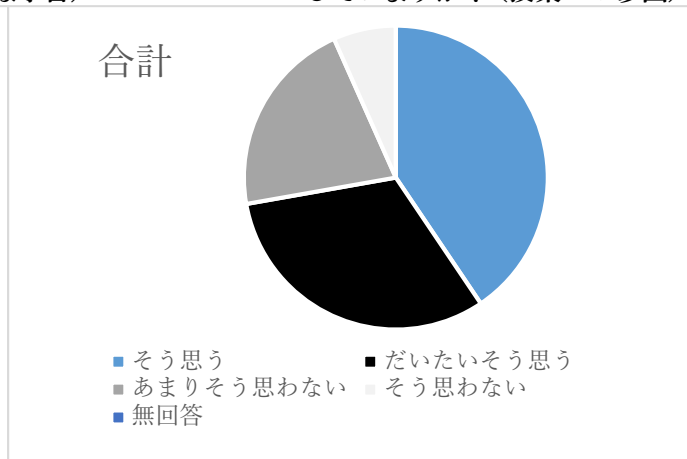
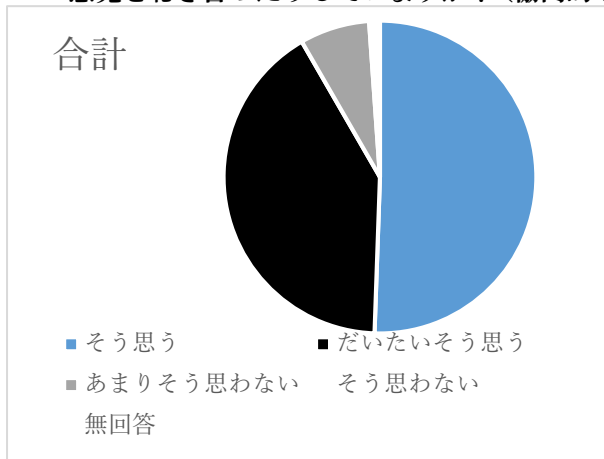
過日生徒たちは、1学期を「自分自身の学校生活」「授業」からそれぞれふり返りました。今回は、そのアンケートの結果を保護者の皆さんにお知らせし、2学期の「課題」や「改善点」を明らかにすると共に、支援の方向を共通理解したいと思います。

### ◆生徒自身による「1学期の授業への取り組み」に対するふり返りから (アンケート調査より)

(1) あなたは授業の中で、友だちと話し合ったり (2) あなたは授業の中で、発言しようと

意見を聴き合ったりしていますか? (協同的な学習)

していますか? (授業への参画)

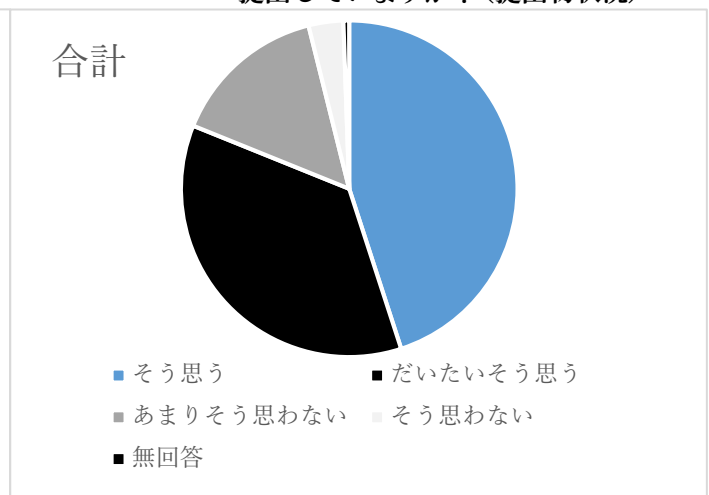
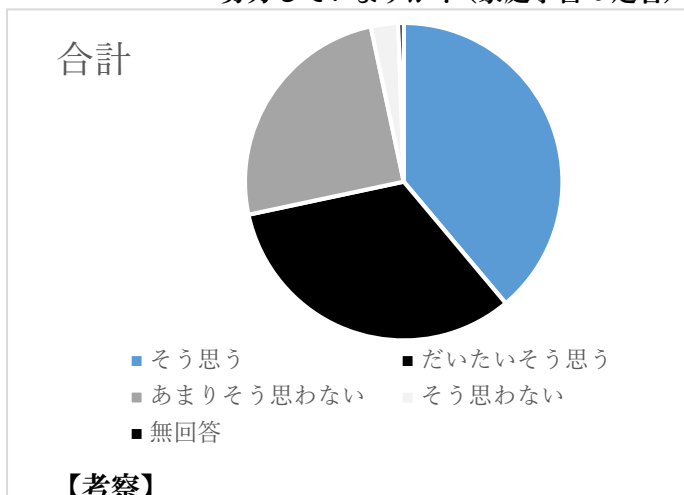


(3) あなたは家庭学習の時間を確保しようと

(4) あなたは提出ノートやプリントをしっかりと

努力していますか? (家庭学習の定着)

提出していますか? (提出物状況)



### 【考察】

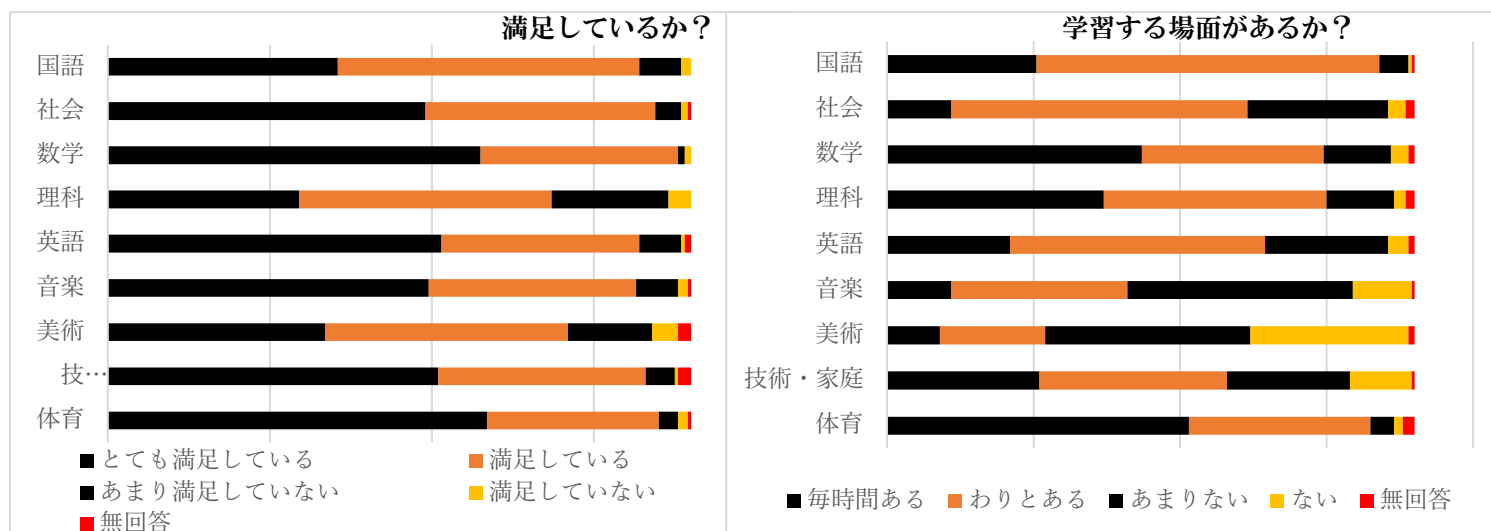
○生徒たちは、おおむね現状を「よい(そう思う/だいたいそう思う)」ととらえ、高評価をしている。聴き合ったり話し合ったりする協同的な学習を前向きに受け止め、意欲的な授業参画ができています。

●課題としては「授業での発言」や「家庭学習」について、30%弱が自分の取組を反省している。昨年度からは大きく改善しているが80%の達成をめざしたい。家庭学習は提出状況から言葉がけをする。

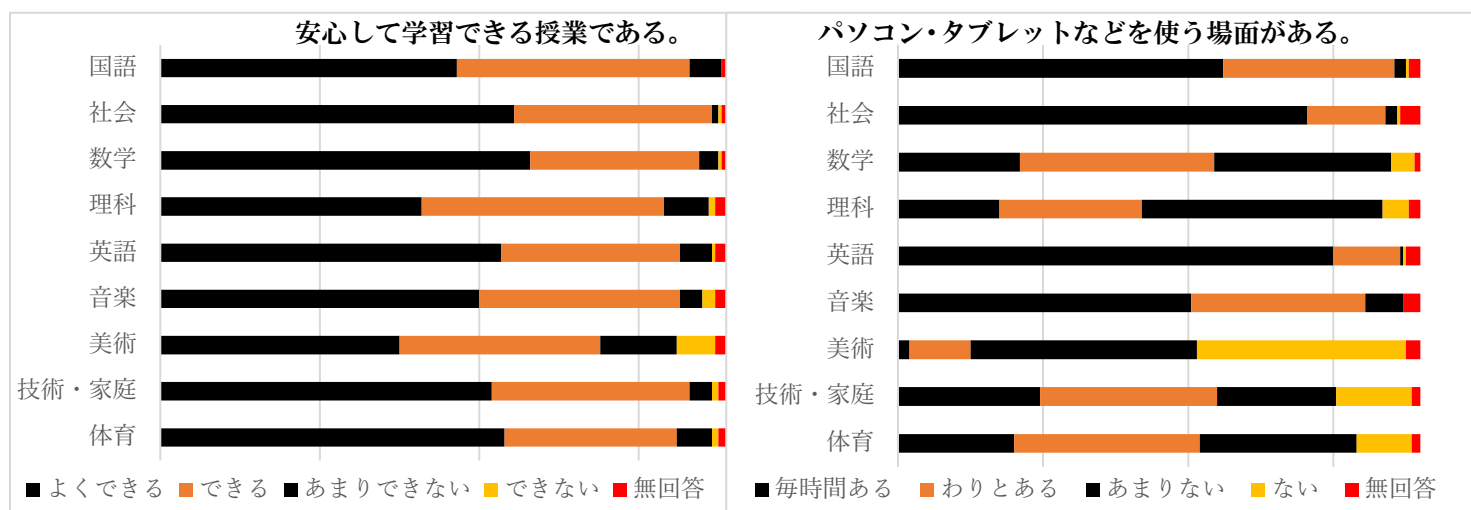
※1学期の取り組みが生徒にも浸透してきているので、2学期はさらに深めていきたい。

◆生徒による「授業」に対する評価・ふり返り・感想から（生徒による授業評価より）

(1) 授業は内容が充実していてわかりやすく (2) 授業の中に、友だちとかかわり合いながら



(3) 先生の授業は一人一人を大切に (4) 先生の授業は、デジタル教科書やプロジェクター



【考察】

- 生徒たちは、授業についてもおおむね「満足(そう思う・たいそう思う)」にとらえ、「わかりやすさ」「授業での安心感」に関しては約 90%が支持している。さらに「1つ上」の授業をめざしていくために、教材研究の充実や ICT 機器の活用を工夫していく必要がある。
- 協同的な学び(聴き合う・話し合う活動)が多くの教科で位置付いている。友だちに発信・伝える(アウトプット)活動をさらに進め、思考力・判断力・表現力などの育成に努めていきたい。
- ◇デジタル教科書やタブレット (ICT 機器)などは、教科性や単元によって、その使用状況が異なってくるので、単純に評価はできないが、授業における本校の ICT 機器の活用は多く、生徒たちもそれを認識し、「授業が視覚的でわかりやすい」と述べている。さらに有効な活用方法を追究したい。
- 生徒の声として、「授業の始めにやっている『前の授業の復習』を増やしてほしい」「授業の中で、テスト前に復習する時間を確保してほしい」というものがあった。2 学期から実施していきたい。

※昨年度、同時期の調査と比べ、どの項目の数値も大きく上昇しました。生徒たちの前向きな取組や気持ち、授業改善が進みつつある証だととらえています。2 学期もこの流れを大切にしていきたいと思えます。ご家庭のお子さんへの励ましや認める言葉かけ、そして学校へのご協力、よろしくお願いします。